

事務事業名 筑紫野市青少年指導員会補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：612

施策：	19 青少年の健全育成	財務コード	01090603-11-00
基本事業：	04 環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	イエローハンドブック危険箇所数 少年の検挙・補導人数	担当課	生涯学習課
		担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市青少年指導員会			<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、指導員相互及び各校区間の連携を緊密にし、少年補導員会等の関係団体との協力体制を確立し、もって青少年の健全育成及び非行防止活動を効果的に推進する。</li> <li>・平成24年度より、各小学校区に5人以内の配置。</li> <li>・11小学校区で、総数55人。（任期2年；4/1～翌々年3/31）</li> </ul>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
青少年指導員の自主的活動を支援する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
教育講演会の出席者数		人	126	134	130	130			130
巡回数		回	500	658	500	550			550
5. コスト									
事業費		計	千円	90	90	90	90		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	90	90	90	90				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	890	899	897	90			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	会議を密に行うことで、各校区の状況報告や連絡事項の伝達が行いやすくなっています。また、平成26年より、活動報告書の様式を変更し、分析や検討のしやすい内容といたしました。巡回数も500回であり、青少年活動を見守る体制ができています。なお、青少年の健全育成に資することを目的とした教育講演会を毎年実施しています。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
平成4年7月、「青少年を非行から守る全国強調月間」に併せて発足し、小学校区を中心に、青少年の健全育成に関する育成事業の推進、各種指導者との連携を図る等、青少年活動の指導を目的とする。他の青少年健全育成団体、防犯団体及びPTAとの連携が求められている。			備考・特記事項 or 進行管理欄						